平成２６年第２回大仙市教育委員会定例会会議録

平成２６年第２回大仙市教育委員会定例会を平成２６年２月１７日（月）午後２時から大仙市立大曲図書館３階視聴覚室において開催した。

出席委員

物　部　長　仁
鈴　木　直　樹
富　樫　佳　典
伊　藤　　良
竹　原　まゆみ
三　浦　憲　一

説明員

教育指導部長	小笠原　　晃
生涯学習部長	佐　藤　裕　康
教育総務課長	佐　藤　彰　洋
教育指導課長	千　田　寿　彦
教育研究所長	須　田　百合子
生涯学習課長	山　谷　喜　元
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	滝　沢　清　寿
学校給食総合センター所長	鈴　木　喜　一
総合図書館長	邑　山　兼　光
総合市民会館長	羽根川　和　雄
花館公民館長	千　葉　信　夫
神岡中央公民館長	石　山　雄　康
西仙北中央公民館長	三　浦　廣　一
中仙公民館長	草　薙　祐　喜
協和公民館長	加　藤　恭　造
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館長	小　松　　徹
太田公民館長	小　松　孝　勝

書記

教育総務課参事	大　河　洋　子
教育総務課主幹	田　口　広　龍

４　付 議 案 件

(1)　議案第６号　大仙市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について（生涯学習課）

(2)　議案第７号　平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第７号）案に関する臨時代理について（各課）

(3)　議案第８号　平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について（学校給食総合センター）

(4)　議案第９号　平成２５年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について（教育総務課）

(5)　議案第10号　平成２５年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第３号）案に関する臨時代理について（スポーツ振興課）

(6)　議案第11号　平成２６年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について（各課）

(7)　議案第12号　平成２６年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について（学校給食総合センター）

(8)　議案第13号　平成２６年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について（教育総務課）

(9)　議案第14号　平成２６年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について（スポーツ振興課）

物部委員長
（開会の挨拶）
（書記の指名）
（前回会議録を承認することについて、会議に諮り、承認された。）
早速、教育長報告に入らせていただきます。三浦教育長、お願いいたします。

三浦教育長
（資料により教育長報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。続いて、各課、所、館から事務事業・行事報告をしていただきます。

各課・所・館長
（資料により教育委員会各部署から事務事業・行事報告を行った。）

物部委員長
ありがとうございました。以上、教育長報告をしていただきました。
ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

富樫委員
昨日のドンパルでのクラシックコンサートには私も出掛けまして、素晴らしい演奏に感動してきました。ドンパルに設置してあるピアノはスタンウェイで、１，２００万円以上もする高価なものでありまして、超一流の演奏を聴かせていただきました。私の娘もピアノの発表会では、実際にスタンウェイのピアノを弾かせていただき、一流の音を肌で感じさせていただきました。今後も中仙ドンパルに行くとスタンウェイが弾けるというように、是非、有効活用していただけるようお願いします。

物部委員長
次第４番、付議案件に入ります。
議案第６号大仙市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
議案第６号大仙市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について、御報告申し上げます。会議資料の１０ページからになります。
本案は、大仙市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案について、市長から教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を開く時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教

育長が臨時代理として同意しましたので、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

会議資料１２ページと、別添資料№.１を御覧ください。

平成２５年６月１４日に公布された「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」において、社会教育法が一部改正され、平成２６年４月１日から施行されます。これにより、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌して各地方公共団体が条例で規定することとされたことから、本条例の所要の改正を行うとともに、併せて文言整理を行うものであります。

改正の内容ですが、大仙市社会教育委員設置条例第２条に社会教育委員の委嘱の基準に関する規定を加えるもので、「委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。」とするものであります。これに伴い条の繰り下げを行っております。

経過措置として、この条例の施行の際現に委嘱されている大仙市社会教育委員は、改正後の第２条の規定により委嘱された大仙市社会教育委員とみなし、任期は、前に委員であった者の任期の残任期間と同一期間とするものであります。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ございませんか。

委員（なし）

物部委員長

それでは、議案第６号大仙市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理については、承認することといたします。

次に、議案第７号平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第７号）案に関する臨時代理について、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

議案第７号平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第７号）案に関する臨時代理について、教育総務課から御説明を申し上げます。

１４ページ、平成２５年度大仙市一般会計補正予算案について、臨時代理をする理由は先ほどと同様でありますので、省略させていただきます。

１５ページを御覧ください。今回の教育委員会関係の一般会計補正予算の概要について御説明を申し上げます。

１０款教育費、補正前の額が38億6,034万2,000円に対しまして、補正額4,840万5,000円、計39億874万7,000円となります。

補正額の内訳は、１項教育総務費1,749万9,000円、２項小学校費1,411万円、３項中学校費868万5,000円、５項社会教育費436万4,000円、６項保健体育費374万7,000円をそれぞれ補正してございます。この詳細につきましては、この後、各所管の担当から御説明をいたします。

それでは、教育総務課所管の事業説明書について御説明申し上げます。

１６ページを御覧ください。事業名は教育文化基金積立金であります。補正額が30万円で、補正後額が67万8,000円であります。

これは、一市民から大仙市の重要遺跡の保存活用等の文化財保護行政に対しまして、30万円の寄附がございました。今後の計画といたしましては、この寄附金を基金に積み立てて、埋蔵文化財の普及啓発に活用するというものでございます。

事業の概要でありますが、基金残高は２４年度末で1,240万9,829円、取崩額が、265万2,500円であります。内訳としましては、成沢遺跡展示室に200万円、心のプロジェクト「夢の教室」等に65万2,500円を取り崩してございます。これに、今年度１２月補正で計上済みの小松英典コンサートの収益金で大曲後援会から寄附されました37万8,000円と、このたびの寄附金30万円を合わせて、67万8,000円を積み立てするものでございます。そして、２５年度末残高が、1,043万5,329円となる予定でございます。補正の財源内訳は補正額全て寄附金となり、その他財源となります。

次に、１７ページをお開き下さい。事業名は学校施設管理費、これは、小中学校合わせたもので掲載させていただきました。補正額が2,279万5,000円、補正後の額が3億1,138万2,000円であります。これは、電気料や燃料費の値上げに伴った補正でございます。事業の概要を御覧ください。電気料ですが、昨年９月からの値上げに伴ったもので、小学校779万1,332円、中学校392万4,901円、合計1,171万6,233円でございます。

燃料費につきましても、年度当初からの値上げによるもので、灯油代、ガス代、ガソリン代の合計1,107万7,147円の補正で、電気料と合わせますと、2,279万5,000円の補正をお願いするものでございます。なお、財源は全て一般財源となっております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますよう、お願い申し上げます。

物部委員長

続きまして、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

事業名は中仙市民会館管理費、補正額が102万9,000円、補正後額が2,992万6,000円であります。事業の概要でございますが、中仙ドンパル内のトレーニングルーム等を管理している冷暖房機の圧縮機２台のうち、１台が摩耗劣化により停止し、もう１台で代用しておりましたが、この１台についても同様に故障のおそれがあるとの業者の指摘により、このたび、２台を同時に交換整備修繕をして諸費用を抑え利便性を図るものでございます。修繕料98万円に消費税をプラスして、102万9,000円の補正をお願いするものでございます。なお、財源内訳は、全て一般財源であります。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますよう、お願い申

し上げます。

物部委員長
　ただいまの３件の補正予算案について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

各委員（なし）

物部委員長
　議案第７号平成２５年度大仙市一般会計補正予算（第７号）案に関する臨時代理については、説明のとおり承認することといたします。
　次に、議案第８号平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　議案第８号平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理についてご説明申し上げます。１９ページをお開きください。
　大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、臨時代理第３号により臨時代理として事務処理しましたので、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。
　２０ページを御覧ください。臨時代理第３号平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）案について、臨時代理する理由、臨時代理の内容については、記載のとおりであります。２１ページを御覧ください。
　平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）について、１款給食事業費、１項給食事業費、補正前の額9億49万4,000円、補正額1,732万1,000円、補正後の額9億1,781万5,000円です。補正額の内訳ですが、２２ページの事業説明書を御覧ください。事業名は学校給食センター運営事業費で、補正額は1,732万1,000円であります。事業の概要でございますが、車両費の修繕料が65万4,000円。年度当初から給食配送車の故障が多く修繕料が不足したため、今後実施予定の給食配送車、公用車の車検整備料を計上するものであります。
　次に、管理及び運営費についてですが、電気料の393万2,000円の補正ですが、認定こども園への給食提供など電気使用量の増、加えて平成２５年９月からの電気料金の値上げにより電気料金が不足したためです。上下水道料113万7,000円の補正ですが、衛生管理の強化による洗浄回数や手洗い回数の増、嘔吐した児童生徒の食器類を外洗浄する機会の増により、水道料が不足したためであります。
　燃料費816万8,000円の補正ですが、食中毒防止のための加熱時間の見直しにより燃料費の使用量が例年より増えていることに加え、今年度当初からの燃料費の値上げで、特に灯油代が上がっておりまして１リットル当たり年度初めより18.90円ほど上がっています。消耗品費等200万円の補正ですが、昨年度の食中毒事案から徹底的に衛生管理の強化を図ってまいりました。そのため、手洗回数、洗浄回数の増加など衛生関係消耗品費を中心に各消耗品の消費量が増えたことによるものであります。

次に、調理運搬業務委託経費143万円の補正ですが、調理運搬業務については、一般社団法人大仙市学校給食協会へ業務委託しておりますが、年度初めの協和学校給食センター勤務の市職員の人事異動で、１人減になったことにより給食協会臨時職員での補充、中仙学校給食センター衛生管理強化のためのパート２人補充など、年度当初は想定していなかった人件費の増により、経費が不足したための補正となっております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

ただいまの３件の補正予算案について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

各委員（なし）

物部委員長

議案第８号平成２５年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理については、ただいまの説明のとおり承認いたします。

次に、議案第９号平成２５年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

議案第９号、２３ページを御覧ください。

平成２５年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理についてですが、臨時代理として事務処理した理由については、前の説明と同様でありますので省略いたします。

２５ページをお開きください。奨学資金事業費特別会計の事項別明細でございますが、276万2,000円の減額補正でございます。

２６ページを御覧ください。事業名は奨学資金事業費で、補正額は276万2,000円の減額であります。これは、平成２５年度の貸付金の欠員、又は辞退による減額であります。事業の概要ですが、大学生は２０人の定員全員に貸付けいたしましたが、１名が途中から欠員となりましたので、その減額が28万円、高校生では１０名の定員に対し７名の申請となりましたので、３名の欠員による72万円の減額、特別奨学金につきましては、大学生１０名の定員に対し申込者が６名でしたので４名分の欠員､高校生は７名の申請で３名の欠員、このほか、中途退学により貸付金を辞退した者が３３名であります。これらを合わせまして、貸付金279万円の減額であります。

次に積立金の内訳ですが、預金利子8,213円、寄附金が2万1,000円となっております。これらを合わせまして、歳出額276万2,787円となっております。歳入額につきましても、先ほどの預金利子、寄附金、貸付金の減額による基金繰入額を合わせまして、歳入歳出同額といたしました。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長
　ただいまの説明について、御質問等ございませんか。

富樫委員
　奨学金のことですが、先ほど途中で退学してしまう学生さんもいると言われましたが、様々な理由で予定どおり償還できない方は、現在どれくらいおりますか。

教育総務課長
　滞納されている方々とは、電話や手紙で連絡を取り合いながら支払についての相談をしております。できるだけ不能欠損の形は取らず、毎月少しずつでも償還していただけるような方法をお願いしております。現在５１件で２４名の方々が、そのような状況にあります。

富樫委員
　できるだけ、長い目で見ていただくことをお願いします。

伊藤委員
　市の奨学金は、他の奨学金との併用は可能ですか。

教育総務課長
　原則として、多重借入はできないことになっております。２５年度で辞退された大学生は、別の奨学金制度を利用するという申し出がありまして、その時点で辞退となっております。

伊藤委員
　条件の良い方を選ぶということですね。

教育総務課長
　そうです。

物部委員長
　ほかに、ございませんか。

各委員（なし）

物部委員長
　次に、議案第１０号平成２５年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第３号）案に関する臨時代理について、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　２７ページを御覧ください。議案第１０号平成２５年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第３号）案に関する臨時代理について、御報告いたします。
　臨時代理をする理由については、先ほどと同様でございます。
２９ページを御覧ください。平成２５年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第３号）は、スキー場事業費に953万4,000円を追加し、歳出合計を8,356万1,000円とするものでございます。３０ページの事業説明書を御覧ください。
　これは、冬季の大台スキー場、更には、夏季等の大台スキー場周辺施設利用者の利便性を図り当該地の利用者増に資するため、休憩所を新設するものでございます。
　太田の大台スキー場は、毎年多くの市内小中学校等のスキー教室が実施されておりまして、今シーズンも地元大曲農業高校太田分校や、美郷町、横手市などの小中学校及び高校など２５校が、延べ２１日間にわたって来場しております。
　現在、現行のファミリーロッジやビジターハウス２棟で昼食や休憩等に対応をしておりますが、この２施設での収容能力は３００人程でありますので、複数校が来場いたしますと対応できない状況であります。外にシートを張って荷物を置いたりして室内をキープしておりますが、なかなか厳しいものがあります。利用者やスキー場を管理する指定管理者の要望を受けまして、今般、国の補助事業を導入し休憩所を新設するものでございます。
　なお、事業費953万4,000円のうち、補助対象総額の２分の１の360万3,000円が国庫補助金、残り593万1,000円が一般財源となっております。
　以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長
　ただいまの説明について、御質問等ございませんか。

委員（なし）

物部委員長
　それでは、議案第１０号平成２５年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第３号）案に関する臨時代理については、説明のとおり承認することといたします。
　続きまして、議案第１１号平成２６年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
　それでは、３１ページをお願いいたします。
　平成２６年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について、御説明申し上げます。
　臨時代理をする理由につきましては、前の議案と同様でございますので説明を省略させていただきます。３３ページを御覧ください。
　はじめに、先ほど教育長報告の中で１０款教育費の総額を４２億と申し上げましたが、この表には４項の幼稚園費が入っておりません。幼稚園費につきましては、２５年度から

健康福祉部の児童家庭課幼保推進班に移管されたことから、これから申し上げる予算は教育委員会所管予算でございますので、よろしくお願いいたします。

平成２６年度１０款教育費予算総額40億6,025万7,000円、前年度比較では2億4,783万6,000円の増となり6.5％の増であります。１項教育総務費は、12億1,753万8,000円で前年比較9,002万3,000円の増、２項小学校費が、5億7,260万7,000円で1,132万円の減であります。３項中学校費は、4億6,666万円で1億87万3,000円の増、５項社会教育費は、13億6,399万7,000円、5,397万9,000円の増、６項保健体育費は、4億3,945万5,000円で1,428万1,000円の増となっております。詳細につきましては、この後、各所管から御説明をいたします。

続きまして、３４ページ、教育総務課所管の事業説明書について、御説明申し上げます。事業名が、学校施設天井等落下防止対策事業費で、小中学校施設の屋内運動場及び武道館を含む天井等落下防止対策経費であります。東日本大震災において全国で体育館の天井が落下するという被害が多発しました。これらは、耐震化を図っている施設においても発生したことから、文部科学省では屋内運動場等の天井や照明器具、バスケットゴールの耐震の総点検と落下防止対策を求めております。本市では、災害時には体育館が避難所にもなっておりますので、その機能確保のためにも対策工事の有無を迅速、かつ効率的に判断することを狙いといたしまして、市内３２小中学校の点検調査費を当初予算に計上し、事業費は1,176万9,000円でございます。

なお、調査の結果を踏まえまして対策が必要な場合には、早期に工事を進めたいと考えてございます。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

続きまして、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

３５ページを御覧ください。教育指導課所管分の当初予算計上分の中から、主な事業３件について御説明いたします。

事業名、学校生活支援事業費、学校生活支援、日本語支援員、複式学級対応支援員等の配置となっております。予算額は、9,560万6,000円をお願いするもので、448万円の増額であります。財源は、秋田県市町村子どもの国づくり交付金、及び地域雇用基金繰入金を活用し、一般財源と合わせてお願いするものでございます。

御承知のとおり、学校生活を送る上で様々な課題を抱える児童生徒が、周囲の子どもたちと落ち着いた環境の中で意欲的に学習できるよう、在籍する学校に支援員を配置するものであります。２６年度の支援員の配置予定につきましては事業の概要にも記載しておりますが、２５年度よりも１名増員で５５名を予定しており、さらに日本語指導支援員を協和中学校に、複式学級が見込まれている太田北小学校には、主要教科の授業ができる複式学級支援講師を１名配置いたしまして学習環境を整えていきたいと考えております。

また、支援員の資質向上のため、新規として教育アドバイザーを１名配置いたします。年々支援を要する児童生徒が増えてきており、２６年度では、今年度を９名上回る２４４

名となっており全児童生徒の４．２％を超えている状況となっております。
　学校からの要望につきまして、対象となる子どもの状況、学校の状況を精査しまして適切に活用されるよう配置いたしまして、配置された支援員が有効に機能するよう研修し、支援を要する子どもたちや学校が落ち着いた中で学習を進められるよう取り組んでまいりたいと考えております。
　３６ページを御覧ください。事業名、こころのプロジェクト「夢の教室」事業であります。予算額232万3,000円で、52万7,000円の増となっております。財源は教育文化基金繰入金を活用し、一般財源と合わせてお願いするものであります。中学生議会でも事業の拡大の声がありまして、それに応えていきたいと考えておりまして、中学校に拡大いたしましたスポーツの教室を１回増やしたいと考えております。いわゆる、プロスポーツや芸術分野など著名な方を招聘しまして、子どもたちの夢や志を育む事業として子どもたちにも大変好評な事業であります。計画的に全ての小中学校で「夢の教室」が実施できるようにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
　３７ページをお願いします。事業名だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費であります。予算は556万2,000円を全て一般財源でお願いするものであります。
　今年度新規に実施させていただきましたが、モデル校である平和中学校の避難所開設訓練を実施いたしました。その後、大曲中学校、神岡小学校でも地域を交えた同様の取組が行われ、学校や地域における防災教育の重要性が認識されまして、今後の取組への啓発が図られているところであります。また御承知のとおり、被災地支援につきましても、市内中学校を中心に「物の支援から心の交流」へということで、被災地との交流活動が大変に積極的に展開されております。こうしたことから、２６年度も避難所開設訓練をモデル的に実施いたしましてその成果を市内全域に広めていきたいということと、併せまして、被災地との交流に掛かる各校のバス代等の支援ができるよう、今年度より506万2,000円の増ということで事業費をお願いするものであります。
　大震災の教訓を生かしまして、大仙市の自主防災組織との連携による実践的な訓練の取組を広げるとともに、中学生サミットなどの活動による被災地交流活動の一層の充実を図って、防災意識の啓発につなげていきたいと考えております。
　以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課所管の予算について、御説明いたします。資料は３８ページになります。
　学校、家庭、地域を結ぶ総合推進事業費については、455万円で、33万6,000円の減であります。事業の目的ですが、地域全体で学校教育を支援するとしておりまして、心豊かですこやかに育まれる環境を目指すとしております。事業の目標ですが、全１１中学校区で実施することとしておりまして、事業の概要は、実際には１０の本部を置きまして、特に中仙地域につきましては、コーディネーターを増員し隣接中学校区も合わせて支援いたし

ます。

放課後子ども教室推進事業では、参加者４，０００名、提供プログラム１３種類を継続して実施いたします。学校、家庭、地域を結ぶ大切な事業でありますので、昨年と同様にしっかりと実施してまいります。

次に３９ページになります。国民文化祭関連事業費（補助分・単独分）については、2,854万1,000円で、2,742万8,000円の増となっております。事業の目的ですが、大仙市としても積極的に参加して地域を全国に発信するとともに、地域文化の一層の発展を図ることとしております。事業の目標ですが、足元の文化資源に光をあて、今後輝きを増していく文化資源を積極的に活用し、地域の文化を守り育てるための活動に励んでいる方々の育成に努め、特に次代を担う若者や子どもたちが文化の力を再認識する祭典となることを目標とするといたしまして、目標数値を交流人口１０万人としております。

これまで国民文化祭を実施してまいりました、いわゆる先の開催県の統計では、おおむね、地域の人口と同じぐらいの交流人口があるとの結果でありますことから、大仙市の人口と同程度の１０万人を交流人口といたしました。事業の概要ですが、大仙市主催事業が2,284万円で、３事業を実施してまいります。

一つ目が、国指定名勝旧池田氏庭園秋の園遊会。二つ目が、囲碁サミット２０１４in大仙。三つ目が、秋田の美×写真の力。以上の３事業であります。

プレイベントとしては、３事業に関連した、郷土芸能の発表や子どもの囲碁大会、木村伊兵衛の足跡を巡る撮影会などを予定しております。また、民謡愛好会による民謡公演も予定しております。

市民主催事業支援といたしまして300万円を見ておりますが、市内の文化団体が、国民文化祭を盛り上げるために開催する事業に対して支援するものでありまして、事業費の８割、１団体につき３０万円を上限として支援するものであります。

資料№.２を御覧ください。国文祭の中身を詳しく説明したものであります。

はじめに、国指定名勝旧池田氏庭園秋の園遊会ですが、概要には、和の心でおもてなしするとしております。右の欄には具体的な日程がありますが、期間中の土曜日と日曜日に集中してイベントを開催することとしております。

次に、囲碁サミット２０１４in大仙です。概要では、これまでの子どもの囲碁普及の実績を基に交流の輪を広げるとしておりまして、国文祭の先頭を切って１０月４日、５日の両日にわたって行われます。

次に、秋田の美×写真の力ですが、概要では、戦後の日本写真界を代表する故木村伊兵衛氏の写真展や全国公募のフォトコンテストを行うこととしており、国文祭期間中に大曲交流センターにおいて展示いたします。イベントは１０月１１日で、シンポジウムや公開審査を行います。

生涯学習課所管の当初予算の概要については以上であります。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館関係の主な事業について御説明いたします。

事業説明書の４０ページを御覧ください。事業名は、図書購入費で、予算額は、昨年と同額の1,100万円でございます。

図書館は情報発信の基地といわれており、常に新しい図書資料を収集し、高度多様化する市民の学習ニーズに応えるための経費でございます。市内８図書館の一般書、児童図書、郷土図書、参考図書、及び視聴覚資料等の購入費で1,100万円をお願いするものでありまして、財源内訳は、全て一般財源であります。

事業の概要といたしましては、図書館流通センターから購入しているベルコースに関しては、話題本が定期的に送られてきております。ほかには定例の選書会議を開催し、各館の重点を置いている資料の充実を図りながら、極力重複本が出ないよう選書を行っての購入であります。定例選書会議を開催することにより、各図書館の蔵書計画を見据えての購入を図ることができ、図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用しております。ちなみに平成２３年度は8,121冊、２４年度は9,111冊と伸びてきております。

また、図書の貸出しについては、予約による貸出しも行っておりまして、増大傾向にあります。２２年度からはインターネットの予約も可能となってございます。

次に、事業説明書４１ページを御覧ください。

子ども読書活動推進事業費につきましては、ブックスタート事業及び公立図書館と学校図書館の連携に係る経費であります。平成２６年度予算額につきましては、583万7,000円で２５年度との比較で4万3,000円の減であります。

この事業につきまして、「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成することを目的としております。平成２６年度が、この読書活動推進計画の最終年度になっております。

事業の概要ですが、一つ目は、ブックスタート事業であります。これは、４か月児健診時に赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く体験と一緒に絵本を渡すものであります。２６年度で５年目を向かえます。絵本についても、２６年度に新しく「ぴょーん」「ぎゅっ」という本に替えます。現在全県の約半数の１１市町村でこの事業を行っております。

次に、公立図書館と学校図書館の連携であります。

これは、子ども読書支援サポーター３名を配置し、大曲地域は大曲図書館、東部地域は仙北図書館、西部地域は西仙北図書館を拠点としまして、小中学校を巡回し、学校図書館の整備を図りながら、子どもの読書活動に対する支援体制の強化と連携を図るものであります。主な取組としましては、学校図書館ボランティアへの指導とアドバイスをもとに学校図書館の環境整備を図り、読み聞かせや紙芝居等の作成、レファレンスに応じた団体貸出の支援、図書館ボランティアの派遣など、子どもたちを取り巻く読書環境の整備と連携を図るものであります。事業費の内訳としては、ブックスタート事業に対する絵本代等108万円、子ども読書支援サポーターの賃金等で445万1,000円、その他としまして消耗品等で30万6,000円となっております。参考といたしまして図書の貸出数は、２２年度で1万615冊、２３年度は1万2,021冊、２４年度が1万2,011冊という状況となっておりまして、小中学校への絵本及び学校図書の充実が図られております。

今後の方向性といたしましては、平成２６年度が「読書活動推進計画」の最終年度となることから、これまでの施策の実施状況を検証評価し、新たな計画策定に取り組んでまいりたいと考えております。財源内訳としては、445万1,000円を地域雇用基金を活用し、残りの138万6,000円を一般財源でお願いするものであります。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館所管分について御説明申し上げます。

来年度の４市民会館の自主事業公演であります。

事業の概要ですが、これは市民の方々で構成されます「市民会館運営協議会」委員の皆様から御提案、御審議いただき策定したものであります。方針としましては、文化庁の助成制度等を活用しまして、収支比率（一般財源負担）の改善に努めつつ、「いいもの」「質の高いもの」を市民の皆様に提供するという計画になっております。

これまでの成果といたしましては、今年度、昨年１１月に「BS日本のうた」の誘致を実現しまして、市民の皆様から大変喜んでいただきました。また、先ほど来話題になっております、ドンパルで開催されました「開館１０周年記念・仙台フィルハーモニークラシックコンサート」公演に対しましては、文化庁から助成金を交付していただくことになっております。

今後も、各種助成制度を活用いたしまして質の高い舞台芸術を提供してまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

委員の皆様に資料３という資料をお配りしておりますので、そちらを御覧ください。各館のラインナップを御説明申し上げます。

大曲市民会館は、「宝くじ公演まちの音楽会（南こうせつコンサート）」としまして、宝くじの社会貢献広報事業として、アーティストを無料で提供してくれるものです。

中仙市民会館は、毎年実施しております「自衛隊音楽隊」、松竹特別公演は「ピーターレヴュー＆愛の賛歌・越路吹雪を慕って」という、大変楽しみな企画となっております。その他にジャズ「須川展也サクスフォンリサイタル」は、吹奏楽の盛んな地域性もあり吹奏楽ファンの中では人気、実力ともナンバーワンの須川展也さんです。単なるリサイタルに止めず、地元の吹奏楽部との共演やステージ等のプログラムも計画しております。

協和市民センターは、毎年の「自衛隊音楽隊」コンサート、「能公演」は来年は観世流です。「小椋佳コンサート」も計画しております。

仙北ふれあい文化センターは、「民俗芸能フェスティバル」ですが、来年で第５回目となりまして、一定のファンを掴んできており、４５０人から５００人の固定客に落ち着いてきております。来年は「藤琴豊作踊り・鳥海山日立舞・八戸虎舞・ねぶた囃子」等を予定しています。地元大仙市のものも一つ入れる計画でおります。それと例年の「史跡の里ふれあいコンサート」として自衛隊音楽隊を予定しております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護関係の当初予算にあたりましては、後世に残したい、伝えなければならない大切な有形・無形の文化遺産について、保護と活用の実施効果を考慮しながら、安全と利便性に配慮した考えた施設等の条件整備などについて、市の実施計画と整合する内容で準備いたしました。主な３事業について御説明いたしますので、どうかよろしくお願いいたします。事業説明書の４３ページを御覧いただきたいと思います。

事業名、文化財保護施設管理費について御説明いたします。

この事業は市内の民俗資料館や文化財関連施設等の管理運営と施設整備に要する経費となっております。

予算額についてでありますが、1,864万4,000円であり、前年度に比較し700万円の増であります。事業の目的につきましては、総合民俗資料交流館と南外民俗資料交流館の展示と管理について、地域間あるいは世代間の交流や、ふるさとの生活文化の歴史を学べる管理運営を目的とします。また、文化財収蔵施設の統廃合や利用者ニーズにあった施設整備も目指すものであります。事業の目標につきましては、総合民俗資料交流館は民俗資料を中心に広いジャンルの企画展示などを行い、年間の来館目標を5,000人といたします。

南外民俗資料交流館は指定管理を行っておりますが、国登録の「南外の仕事着」など特徴ある企画展示の実施を具現化いたします。

また、文化財情報を発信できる施設として協和地域の既存広場の整備や、総合民俗資料交流館の施設改修のための準備も行う計画であります。事業の概要についてでありますが、大きく３項目となっております。

一つ目は総合民俗資料交流館の維持と運営の経費であります。人件費や光熱水費等の維持管理に係る経費が792万4,000円、そのほか、新規分として施設改修を進めるために調査及び実施設計業務費を367万9,000円としております。合わせますと1,160万3,000円となっております。

なお、この新規分につきましては、総合民俗資料交流館は不特定の方々が利用する施設となっておりますので、資料館という用途に併せて、排煙窓の設置やバリヤフリー法に対応した施設改良、さらには建築後２５年を経過し、雨漏りなどの経年劣化も目立つ状況に加え、今後予定される類似施設の統廃合の受け皿として、施設を安全に管理運営する上で改修が必要となったことから整備するものであります。

２つ目は南外民俗資料交流館の指定管理料であります。資料館に隣接する温泉施設と一体的に管理を行っておりますが、その指定管理委託料434万6,000円となっております。

３つ目は、新規分として伝統と文化の広場の整備を行うものです。

協和地域の唐松神社に隣接する広場には、協和地域の限られた文化財等の案内パネルが設置されております。この広場は、年間1万8,000人の文化財見学者や生涯学習団体が訪れるなど、市の西の玄関口でもあることから、協和地域を起点として、大仙市全体の文化財情報を発信しできる広場として、約８００平方メートルの舗装整備を行う内容であり、

事業費は269万5,000円であります。

これまでの成果と今後の方向性についてでありますが、公共施設の統廃合などの時宜に合っていることや市民からも喜ばれ成果も上がっております。今後は、安心安全をキーワードに、利用者ニーズにあわせた施設改修なども計画的に実施してまいりたいと考えております。事業に要する財源内訳につきましては、一般財源となっております。

次に、１４事業の払田柵跡環境整備事業費について御説明いたします。

この事業は、国指定史跡の払田柵跡の復元材木塀の立替え工事等となっております。予算額としましては、3,034万5,000円でありまして、前年度対比2万9,000円の増であります。事業の目的と目標についてでありますが、史跡の保存を図るとともに、歴史を正しく理解できるよう史跡公園に復元し、子どもから高齢者まで多くの方々から学習や憩いの場として利用していただき、歴史的文化意識の醸成と地域振興に貢献することを目的にした第３次史跡環境整備基本計画に基づき、計画的に整備を進めるものであります。事業の進捗率は、平成２５年度末で２５．９５パーセントとなっております。事業の概要ですが、この事業は、補助率は５０パーセントの国庫補助事業を活用して実施させていただいており、史跡の外郭北東部、いわゆる長森の北側の材木塀等を復元する計画となっておりますが、平成２６年度におきましては、主に一部倒壊している南門付近の材木塀について建替工事を予定しております。事業費は、南門付近の材木塀建替工事に2,606万6,000円、北東部の材木塀平面表示工事に180万9,000円、それに業務委託料などを含めて計3,000万円となっております。

これまでの成果と今後の方向性や、事業評価の見直し内容でありますが、平成２５年度までに東西南北の門が整備されたことや、秋田県を代表する史跡公園として、年間４万人の利用実績があります。今後も、年次計画によって整備を継続する予定でありますが、材木塀のように大規模な修繕への対応も想定されます。なお、事業に要する費用の財源内訳は、予算額のうち1,500万円が国庫補助金となっております。

４５ページを御覧ください。１７事業の旧池田氏庭園整備事業費について御説明いたします。

この事業は、国指定名勝旧池田氏庭園の整備として、米蔵保存整備工事と枯死植栽の補植及びガイダンス広場の整備を行う経費となっております。予算額としましては、9,076万8,000円、前年度対比1,835万2,000円の減となっております。事業の目的と目標につきましては、庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元を行い、観光的視点も考慮し広く活用できる文化財として地域振興を図ることとしておりますが、具体的には一般整備と総合整備の二つの補助事業で整備するものであります。

事業の一般整備では、国の指定地内の整備を進めてきておりますが、近年のトイレや案内所などの便益施設の充実要望に対応して、平成２５年度から３年計画で総合整備事業を活用しながら、事業の進捗率を上げるものとしております。整備につきましては、庭園を当時の状態に復元する期間を平成４５年度までの３０年間とし、第１期から第３期までの３期間に分け、それぞれの期間を１０年として計画的に推進するものとしております。その整備状況についてでありますが、第１期は庭園の早急な修理修繕として、主に池の浚せつや庭園のシンボル的な洋館や米蔵などの整備を行っており、最終年度となった２５年度には、総合整備を導入して案内所を建築することができました。なお、３０年間の概算

整備費は１０億円を想定しており、事業の進捗率は２５年度末で、５３．４パーセントとなります。

事業の概要につきましては、平成２６年度は３つの事業を計画しております。

１つ目は一般整備です。事業費は6,160万円で米蔵の修復と受付施設などを整備いたします。米蔵につきましては、２６年度で完成し、内部には大型展示ケースなども設置されますので、新たな見学部分が増えることになります。

また、公開時の受付は、現在プレハブの仮設建物の利用となっておりますが、米蔵の南側部分に１００平方メートル、約３０坪ほどの受付施設を新しく建設いたします。この受付施設の外観は、かつての使用人、いわゆる若勢たちが使用した建物をモチーフとする予定であります。

２つ目は、総合整備を活用したガイダンス広場を整備します。

これは、２５年度に建設したガイダンス施設の「巨洲館」前を、多目的に利用できるように広場の整備を行うものであります。また、総合整備はソフト事業を行うことが補助事業の条件となっておりますので、パンフレット作成や名勝指定を受けて１０周年に関連したシンポジウムも開催する計画でありますので、事業費は2,157万4,000円となっております。

３つ目は、単独事業として本家庭園の駐車場を整備いたします。

巨洲館に隣接した仮設駐車場部分を拡張整備するものです。事業費は727万4,000円を計画しておりますが、計画地に地元の部落会館があることから、この予算には会館建物の解体費も含んだものとなっております。なお、これら３つの整備事業につきましては、秋に開催される国民文化祭前に完成させる計画で工事を予定したいと考えております。

これまでの成果と方向性、及び事務事業見直しの内容についてでありますが、本庭園は文化的観光資源として多目的な活用や事業効果も期待できることから、今後も計画の見直しや改善をしながら継続してまいりたいと考えております。財源内訳につきましては、池田氏庭園国庫事業費補助金が4,158万円、文化財保護施設整備事業債が3,340万円、残り1,578万8,000円が一般財源でお願いするものでございます。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

続きまして、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長

４６ページを御覧ください。

事業名、スポーツ振興事業費は879万2,000円、２５年度比139万8,000円の増であります。増の要因でありますが、事業の概要の下段にありますとおり、新規事業といたしましてプロ野球著名ＯＢによる少年野球教室の開催であります。これは、４月にスポーツ少年団員、１０月に中学校球児や指導者を対象といたしまして年２回開催予定となっており、その指導者謝礼等の82万円であります。

２つ目は、新しい全県駅伝大会の負担金であります。これは、県が提唱している駅伝に

よる地域の盛り上がりを目的としたものであり、本年９月に２５市町村対抗の形で実施されることになっております。

３つ目が太田長距離走路公認コースの更新手数料であります。これは、５年ごとの更新が義務付けられているものであり、そのための費用であります。

事業の目標ですが、スポーツイベントの参加者数を記載しております。２５年度では初めてチャレンジデーを実施いたしましたので、前年に比べ参加者数が倍増しております。これは、あくまでも各公民館が主催で実施した事業の累計でありますが、市内の体育施設の利用者数は毎年６０万人を超えております。

次に４７ページをお開きください。事業名はスポーツ合宿等推進交流事業費であります。これは、平成２４年度に立ち上げました大仙市スポーツ合宿事業推進委員会の負担金であります。この推進委員会の方から、合宿期間中の球場使用料ですとか体育館やテニスコート使用料、又は合宿期間中の利便性を図るレンタカーの借上料などが支払われることになっております。県内外の合宿誘致につきましては、県でも力を入れております。

事業の概要の下段に記載しておりますが、秋田県でもスポーツ合宿誘致推進事業補助金として年間350万円の予算で、１泊1,000円の補助金を出しております。こちらの方が非常に人気が高いので採択される場合が多いのですが、２６年度では、申請して不採択となった団体を対象に市が相当分を補完する制度を設けまして、600人分の60万円を増額し200万円の予算計上をお願いするものでございます。

なお、事業概要には今年度合宿した２０団体を記載しておりますが、括弧書きのないものは全て硬式野球チームとなっております。合宿期間中は、市内高校との練習試合ですとか、中学校への学習指導、スポ少への野球指導など実施していただいておりますし、市内温泉施設利用による経済波及効果も期待できますので、２６年度につきましても、積極的に合宿誘致をしてまいりたいと考えております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

ただいまの各事業説明について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

伊藤委員

天井落下防止対策についてですが、震度強の基準の指示とかあるのですか。

教育総務課長

文部科学省で定めている基準は、６メートル以上の天井を持ち、２００平方メートル以上の広さを有する施設ということでありまして、学校の体育館、武道場等が対象となります。私ども職員が市内３２校を目視で調査したところ、吊天井となっている学校が１３校あります。体育館、武道館数は１４か所ありますので、それらの調査から始めていきたいと考えております。全校対象として、照明とバスケットゴールの調査を実施いたします。

該当する小学校は、大曲小の第二体育館、東大曲小、大川西根小、神岡小、中仙小、清水小、豊岡小の７校の体育館であります。中学校では、大曲中の柔剣道場、大曲西中は武

道場、大曲南中は体育館と武道場、豊成中は体育館、太田中も体育館であります。また、中仙中も私どもは吊天井と認識しておりましたが、県を通じ国から吊天井ではないという回答をいただきました。吊天井となっている学校を優先的に、その後、照明とバスケットゴールの調査を計画的に進めてまいりたいと考えております。

伊藤委員
　事故当時の写真を見ても、やはり吊天井が一番壊れておりました。照明などはボルトでしっかり押さえることで防止されますが、天井はそうはいかないですからね。分かりました。

富樫委員
　廃校となった空校舎も地域の避難所になっていますが、そちらの点検はどうなっていますか。

教育総務課長
　空校舎も対象としておりますが、吊天井になっている場合に限りますので、これから点検してまいります。

物部委員長
　ほかに、ございませんか。

富樫委員
　学校生活支援員事業ですが、多くの予算を付けていただきました。
　各学校には、支援を必要とする子どもたちがたくさんおりますし、周りの子どもたちも支援員がいることで、落ち着いて学習に取り組むことができています。支援を受ける子どもたちは、勉強しようと懸命に努力しておりますので、どうか、このような支援事業は継続していただき、子どもたちの学習環境を整備していただくようお願いいたします。

物部委員長
　私も、この支援員配置という事業は、大変よろしいものと考えております。
　ところで、複式学級が出るような状況はありますか。

教育指導部長
　太田北小でこれから生じます。現在の出生数から見ますと、平成３１年頃にもう少し出る可能性があります。ただこれは、転入転出等の動きがありますので、はっきりとしたものではありません。

物部委員長
　まだ、４、５年は余裕があるのですね。
　ほかに、ございませんか。

富樫委員
　県では３０人学級を目標としていて今後実施されるようですが、それに伴って学級数が増える学校はありますか。

教育指導部長
　現在、対象となるのは、大曲中と西仙北中の２校だけです。

物部委員長
　それでは、議案第１１号平成２６年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理については、ただいまの説明のとおり承認することといたします。
　次に、議案第１２号平成２６年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　４８ページをお願いします。
　議案第１２号大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について、御説明いたします。
　４９ページを御覧ください。臨時代理第７号平成２６年度大仙市学校給食事業特別会計予算案について　臨時代理する理由、内容については、記載のとおりです。
　５０ページの平成２６年度大仙市学校給食特別会計予算ですが、19億5,741万9,000円であり前年度よりも10億3,111万円増えております。詳細についてはこの後説明いたしますが、増加の一番の理由は、西部学校センター整備事業費で、9億4,000万円程度増となっています。
　次に、５１ページの事業説明書を御覧願います。
　学校給食事業特別会計、説明事項は学校給食に係る事業についてであります。
平成２６年度予算19億5,741万9,000円、２５年度比較10億3,111万円の増となっております。増額の主なものは、西部学校給食センター整備事業費の9億4,035万3,000円、給食材料費の3,200万円、管理及び運営費の3,500万円、調理運搬業務委託経費で2,600万円ほどが増えております。
　事業の目的でありますが、児童生徒の安全安心な学校給食の提供と食育の推進を図ることであります。事業の目標ですが、平成２６年度の食数は６，７７２食の年間１９０日、２６年度から新たに始まる太田認定こども園を含めた２１５人分の年間２９０日となっております。
　事業の概要ですが、職員人件費はセンター職員１３名分で1億307万3,000円、元利償還金といたしまして各センター建設時の借金で1億720万7,000円、現在、総合センター、中仙、仙北、太田の計４センター分を償還しております。そして予備費を200万円計上しております。
　次に総合センター分予算ですが、給食センター運営委員会委員報酬が１０名分で6万1,000円。給食材料費6,772食で７センター分の3億8,101万9,000円、車両費は、７センターの

給食配送車及び連絡車に係る維持管理経費732万円、これは配送車１７台と連絡車３台分であります。管理及び運営費は、７センターの維持管理のための経費でありまして、1億5,210万6,000円であります。電気料、燃料費、上下水道料、修繕料、委託料、手数料、備品購入費などの合計であります。調理運搬業務委託経費では大仙市学校給食協会委託料として2億6,372万円でありまして、職員９５人分の人件費等であります。ほか、各センターそれぞれの給食材料費、車両費、管理運営費の予算を計上いたしました。

これまでの成果と今後の方向性でありますが、衛生管理の強化を図るとともに県のハサップ認証を目指してまいりまして、今まで以上に、安全安心でおいしい給食の提供に心がけ、児童生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供をしてまいりたいと考えております。

また、西部学校給食センター建設に関しましては、担当課となっております建築住宅課と連携を図りながら、工期内の完成を目指してまいります。財源内訳でございますが、学校施設環境改善交付金が7,668万8,000円、市債といたしまして学校給食整備事業債が8億2,030万円、その他といたしまして給食費納付金、認定こども園の給食調理経費等負担金を合わせまして、3億8,377万9,000円となっております。残り6億7,665万2,000円を一般財源でお願いするものであります。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長

ただいまの各事業説明について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

委員（なし）

物部委員長

議案第１２号大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理については、説明のとおり承認することといたします。

続きまして、議案第１３号平成２６年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

議案第１３号平成２６年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について、御説明をいたします。理由については、前議案と同様ですので省略いたします。

５４ページを御覧ください。平成２６年度予算額は、3,345万2,000円、前年度3,369万2,000円、前年度比24万円の減であります。この概要ですが、前年同様大学生等２０名、高校生１０名の貸付金を予定してございます。内訳でございますが、ただいま申し上げました２６年度の貸付金、２３年度から２５年度まで貸付をしております方々の継続の貸付金の合計額となっております。このほかに、審議会の委員報酬と事務局における事務費等になっております。

以上、御説明申し上げましたが、何とぞ、御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長
　ただいまの各事業説明について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

委員（なし）

物部委員長
　議案第１３号平成２６年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理については、説明のとおり承認することといたします。
　次に、議案第１４号平成２６年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　議案第１４号平成２６年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について、御説明いたします。理由については、前議案と同様であります。
５７ページを御覧ください。平成２６年度大仙市スキー場事業特別会計予算は、１款スキー場事業費4,673万8,000円で前年度比303万5,000円の増であります。これは、大台、大曲両スキー場の指定管理料とリフト等修繕料、及び協和スキー場の圧雪車リース料であります。２款公債費ですが、協和スキー場が平成２２年度にリニューアルオープンした際の１０年長期債、1億8,190万円の元金及び利子の償還金であります。３款の予備費でありますが、前年度比200万円の増となっておりまして、突発的な修繕等に対応するものでございます。
　３スキー場とも、自然災害による施設設備の故障ですとか、経年劣化等による修繕が発生しておりその都度対応しておりますが、今後も、常に安全を最優先として徹底し、スキー場運営をしてまいりたいと考えております。
　以上、御説明申し上げましたが、何とぞ、御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

物部委員長
　ただいまの各事業説明について、委員の皆様、御質問等ございませんか。

鈴木委員
　予算につきましては、特別質問はありません。
　今回のソチオリンピックを見ておりまして、スキーを履く競技以外のスケルトン競技に、秋田出身の選手が出ていてとてもびっくりいたしました。スキー競技もだいぶ様変わりしたものだと感じたところです。大仙市の３スキー場についても、新しいものを取り入れながら、時代に合ったスキー場として運営をしていく検討も大事ではないかと考えます。委員長も申しておりましたが、長期的、又は対局的な視野で、議会等でもお話し合いができればと思ったところでありました。

スポーツ振興課長
　マスコミ等で高度な技術を見るにつけ、夢を抱く方々が増えてくることは予想されます。大台スキー場では、スノーボードの滑走面を整備していただきたいとの要望もありますし、協和スキー場でも、一部そのようなコースを作っている場所もございます。ただ、怪我のリスクを伴うことも事実でありますので、その点において整備面の技術のレベルを見極めるとともに、指定管理会社のノウハウやスノーボーダーの最新の情報を入手しながら、対応してまいりたいと考えております。

物部委員長
　ほかに、ございませんか。

委員（なし）

物部委員長
　次に、議案第１４号平成２６年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理については、御説明のとおり承認することといたします。
　次第の５番、その他に入ります。
　学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターから、先般の調理員のノロウイルスに関する学校給食休業について、その経過報告をさせていただきます。
　発端は２月５日の朝、調理員である女性職員から「家族の体調が思わしくない」との報告を受けまして、本人の出勤停止とともに、本人と家族の検便検体の提出を求めました。６日の朝、検体を保健事業団に提出いたしまして、６日午後に、本人・家族とも陽性となりノロウイルスが検出されました。そのため、７日金曜日と１０日月曜日の大曲地域及び南外地域の小中学校の給食を停止いたしました。
　学校給食センターでは、昨年度の中仙給食センターのノロウイルス感染の事案を教訓に、大曲仙北医師会の指導を踏まえまして「ノロウイルス等検出時の学校給食休業基準」を定め、昨年の１１月に学校を通して保護者等にも通知をしておりました。その中で、給食センター従事職員に有症者がいる場合は給食業務を一時休業するとしておりますので、今回適用させていただきました。
　その後、７日には総合センター全職員の検便検体を提出いたしまして、その結果職員全員陰性、感染なしとの報告をいただきました。それを受けまして、８日と１０日にセンターの全館消毒をいたしまして、１２日水曜日に給食を開始したところでございました。
　次は、協和給食センターの事案ですが、２月１３日の定期の検便検査において、女性調理員の一人が陽性となりノロウイルスが検出されたとの報告がありました。直ちに本人に症状の有無を確認したところ、「症状はない」との報告を受けました。
　学校給食休業基準に照らし合わせますと、有症でない１名のみの感染の場合は休業はしないこととしておりますが、今回、この調理員が１３日の給食業務に携わっていること、

他の職員と接触があったことから、その判断について１４日の朝、大曲仙北医師会の吉村クリニックの吉村院長に御相談をいたしました。１４日朝の児童生徒の健康状況報告では、下痢嘔吐等の症状が出ていないことや、検便検査等の経緯を報告をしましたところ、安全策としては、２月１４日の給食は中止し、センター内の消毒を再度行い、全職員の検便検査を再度行うこと、しかも検便検査は遅くなってから実施すること、との指示をいただきました。

その後協議の結果、１４日は児童生徒が登校していることから給食は停止し、パン、牛乳の代替食を提供、１７日は弁当持参をお願いすることで、市長に報告をし了解をいただきました。早速、総合センターから協和小中学校長を通じまして、保護者への通知をお願いいたしました。１４日午後からセンター内の消毒、また衛生管理研修を行い、１５日午前センター内の消毒を再度いたしました。

そして本日、全職員の検便検査をしております。ただいま、保健事業団から連絡がありまして、全員陰性、感染なしということが判明いたしました。明日１８日から給食を再開する方向で準備をいたします。

大変御心配をおかけしました。今後も衛生管理には十分に配慮してまいりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

物部委員長

ただいま報告をいただきましたが、何かございますか。

鈴木委員

大曲のスマイルランチの報告時は、自宅におらず分かりませんでしたが、協和給食センターの時は、対応がものすごく速くて、的確であったと思います。昨年のことが完全に生かされている素早い対応でありました。ノロウイルスの感染力の強さは私も認識しておりますが、それをも抑え込んだ迅速で素晴らしい対応をしていただき、とても感謝しています。

伊藤委員

現在、ノロウイルスの他にも、ロタウィルス、アデノウイルスが世の中に蔓延しています。しかし、やはりノロウイルスの感染力が一番強いですから蔓延しやすいですね。

しかも、これで終わりということではないかもしれません。感染はいくら予防しても難しいものでありますが、まずは監視体制、検査を十分にやっていくことです。

三浦教育長

不顕性のものが難しいですね。症状がないのですから。

鈴木委員

症状は、人によって違うものですか。

伊藤委員

ウイルスの量によって、症状の出方がぜんぜん違ってくるのです。

物部委員長
給食センター所長はじめ職員の皆様、関係職員の皆様は、気の休まるときがありませんね。本当に大変でありますが、どうか今後ともよろしくお願い申し上げます。
ほかに、ございませんか。

教育総務課長
委員の方々には、入学式の御案内を差し上げております。御都合の悪い日がございましたら、今月末まで教育総務課にお知らせ願いたいと思います。
また、３月の定例会の日程でありますが、これから定例市議会もございますので、それを踏まえまして３月２４日の月曜日の４時から、この場所で開催いたします。なお、定例会終了後、今年度末で退職する職員の激励会を開催いたしますので、どうかよろしくお願いいたします。

物部委員長
委員の皆様、御都合はよろしいでしょうか。
ほかに、ございませんか。
ただいま、平成２６年度の予算の審議をさせていただきましたが、大仙市の財源が大変厳しい中で、教育予算増額という、誠にありがたいことだなと思っております。気を引き締めて期待に応えられるよう、来年度も頑張っていきたいという思いでいっぱいであります。どうぞよろしくお願いいたします。
また、いよいよ年度末でありまして、大詰めとなってまいりました。
どうか皆様、それぞれのお仕事の場で、精一杯頑張っていただきますようお願い申し上げます。
本日の定例会、これで終了いたします。長時間にわたりどうもありがとうございました。

閉会時間　午後４時１７分